

ひらのまちギャラリー・サロン

江戸時代中期に商人道、ひいては人としての道を示したとされる「石門心学」は、280年の時を経た現代においても、商売の在り方、企業の社会的責任を、さらに人間の倫理の基本を考える上で大きな指針になり注目されています。今回の「ひらのまちギャラリーサロン」は、天理大学付属おやさと研究所から金子昭教授をお招きしました。奮ってのご参加をお待ちしております。

開催日：平成30年6月6日(水) 18時30分～20時

場所：辰野ひらのまちギャラリー（※地図裏面参照）

（※20:00時より通常総会を開催致しますが、一般の方もご参加頂けます。）

講演：倫理と宗教—心学と天理教に通底する心の思想—

「ご講演要旨」 江戸末期の大和地方には心学明誠舎の教線が伸びたが、これに貢献したのが三大老農の一人と呼ばれる中村直三であった。折しも中山みきが天理教を立教し、教勢を急速に拡大していった。明治期に入ると、神道国教化政策の下、心学も天理教もこれに合わせた説き方をせざるを得なくなった。その典型的事例が「三条の教則」による「天理人道」に基づく説教に見られる。講演では、幕末維新时期にそれぞれ倫理運動と宗教運動として展開した、心学思想と天理教の消長の状況を紹介しながら、両者に通底する心の思想について論じ、現代におけるその可能性と課題について皆さんと一緒に考えてみたい。

講師：金子 昭先生
天理大学付属おやさと研究所教授

参加費：会員 500 円（会員でない方は、1,000 円） 学生は無料

参加申込：5月末日までに電話、メール又 Fax、でお申込下さい。

（定員 90 名：定員を超え、ご聴講不可能の時のみご連絡致します）

問合せ先・お申込み：一般社団法人心学明誠舎 事務局（担当：山田）

E-mail：meiseisha@ehle.ac.jp FAX：06-6632-6100

大阪市浪速区難波中 3-13-1 エール学園 3 号館 701 06-6632-0041

【講師ご略歴】

1961 年、奈良県天理市生まれ。1989 年、慶應義塾大学大学院文学研究科（哲学専攻）博士後期課程修了、天理大学おやさと研究所助手就任。2003 年、同教授に昇任。現在に至る。（その間、3 年間、台湾の中国文化大学日本語文学系で客員教授）。

専門は、倫理学、哲学的人間学、宗教社会福祉論。

主な著書に『天理人間学総説』（白馬社）、『駆けつける信仰者たち - 天理教災害救援の百年』（天理教道友社）、『驚異の仏教ボランティア』（白馬社）、『天理経営論総説』（天理大学おやさと研究所）、『シュヴァイツァーその著作活動の研究』（白馬社）など。

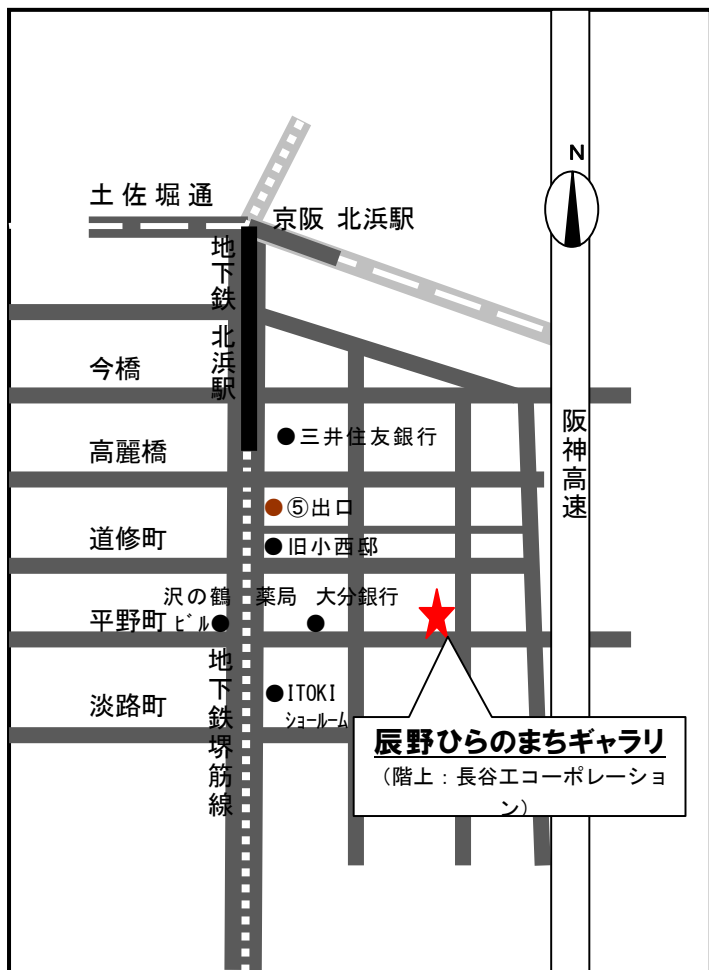
6月6日金子昭先生の
☆ 講演参加申込 ☆

(明誠舎に未登録の方はご住所、連絡先をご記入下さい。次回より講演のご案内を送ります。)

お名前 (会社名)	TEL
ご住所 会社 自宅	
E-mail	

※お客様のお名前、ご住所等の個人情報は、事務局において厳重に管理するとともに、各種セミナーのご案内を送らせて頂きます。

<<現地案内図>>



講演会・総会

辰野ひらのまちギャラリー

大阪府中央区平野町1-5-7

「辰野平野町ビル」地下1階

(入口はビル東南角)

(※階上 長谷エコーポレーション)

Tel 06-6231-0180

交通

- ・地下鉄堺筋線北浜駅 5番出口 徒歩5分
平野町交差点薬局を東にお進みください。
